

【プール、水遊び安全チェックポイント】

社会福祉法人 わかたけ会

わかたけ保育園

○シーズン前の準備

- ・プールの設置(日よけ、目隠し、玩具などの確認)
- ・内服、外用薬を使用している園児の確認
- ・AEDの使い方、心肺蘇生法を学ぶ
- ・残留塩素の測り方を全体で確認をする
- ・クラス毎のプールの入り方、時間の配分などを検討、みんな
で共有する。
- ・持ち物などを保護者に連絡する。
- ・プール開きで、子ども達にも約束事などを知らせる

※監視役を立てる。

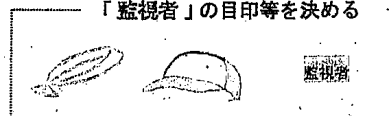


とは

監視体制の空白が生じないよう専ら監視を行う者とプール指導等を行う者を分けて配置する

監視者はプールサイドの子どもたちと遊んだり、プール指導者の補助をしたりせず、監視に専念する者

「監視者」の目印等を決める



役割

- プール全域をくまなく監視する
- プールに参加している子どもの人数を把握し、確認を適宜行う
- 動かない子どもや不自然な動きをしている子どもを見つける ⇨ **静かに溺れることが多い**
- 特定の子どもに目線を固定せず、定期的に目線を動かしながら全体を監視する
異常かどうかの見極めは、**顔(特に目)**を見る
- 持ち場を離れる時は、代わりにの職員を配置する

必ず、指導者と監視役で子どもの遊泳人数を
声出し確認する!!

○水遊び前の確認

- ・ プールカードのチェック、子どもの様子の確認
- ・ 準備物の用意

☆塩素剤	☆残留塩素測定器	☆気温計	☆水温計
☆プール管理日誌	☆時計		

- ・ 環境整備(日よけの設置、清掃、目隠しの設置、マットを敷く、水を入れる)

- ・ 排泄を済ませる
- ・ 準備体操を行う。
- ・ シャワー、腰洗い。

○活動中

- ・おぼれている子
- ・怪我をしている子
- ・不自然な動きをしている子
- ・危険な行為をしている子

などが居ないかを確認する。

※監視担当者は、監視に専念。子ども達から目を離さない！

※時間に余裕をもってプール活動を行う。

※監視体制が十分に確保できない場合は、中止も検討する。

○水遊び後

- ・ プール管理表の記録。
- ・ 片付け

- ・ 体をよく洗い、拭く。
- ・ 健康状態を確認する。

《プール管理表 記入例》

プール残留塩素測定記録表

年 8 月 2 日 月 曜日		天候 (晴)・曇			
クラス	もも	遊泳開始		遊泳終了	
	ちゅうりっぷ	時刻	9:50	時刻	10:10
	ひまわり	気温	29℃	気温	29℃
	すみれ	水温	26℃	水温	26℃
遊泳人数 10人		残留塩素		残留塩素	
担当責任者	わかたけ	0.5	1.0	1.5	(2.0)
監視者	すすき	Eース投入量 7g		Eース投入量 0g	
水深	15~20				
	20~25				

《心肺蘇生法》

